

## 別紙様式3

## 平成30年度 第2回 魅力豊かな高校づくり推進協議会 議事要旨

日 時	平成30年10月31日(水) 10:00~12:15
場 所	揖斐高等学校 会議室
出席者 (敬称略、 50音順)	<p>(委員)</p> <p>石橋寿恵広 元揖斐郡小中学校校長会長 小野島英明 揖斐建設業協会事務局長 折戸 朱美 揖斐厚生病院副看護部長 折戸 克明 北和中学校校長 国枝慎太郎 岐阜県議会議員 杉山 洋子 揖斐川町社会教育委員 高見恵美子 揖斐川町教育委員会社会教育文化課課長補佐 富田 和弘 揖斐川町町長 錦野 悦朗 前揖斐高等学校同窓会長 野原 靖 揖斐川町教育長 服部 均 揖斐川町商工会長 牧村 範康 岐阜県議会議員 松本 信弘 揖斐川中学校校長 三島 晃照 揖斐川町教育委員会社会教育文化課長</p> <p>(高校)</p> <p>高橋由美子 揖斐高等学校校長 澤藤 哲也 揖斐高等学校教頭 小中 敏嗣 揖斐高等学校事務長 和田 摂子 揖斐高等学校教務主任 安野 幸成 揖斐高等学校地域連携担当 井藤恵理子 揖斐高等学校中高一貫教育担当 永井 幹雄 揖斐高等学校進路指導主事 松岡 順 揖斐高等学校特別活動部長 松野 早苗 揖斐高等学校生活環境科主任</p> <p>(県教育委員会)</p> <p>高橋 宗彦 岐阜県教育委員会教育総務課教育主管</p>
	<p>1 日程内容</p> <p>(1) 校長挨拶</p> <p>(2) 授業参観</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年2組(普通科ビジネスコース) 「簿記」</li> <li>・ 1年3組(生活環境科) 「国語総合」</li> <li>・ 3年4組(生活環境科) 「生活教養」</li> </ul> <p>(3) 生徒会執行部生徒との懇談</p> <p>(4) 先進校視察訪問報告</p> <p>(5) 意見交換、ご提言</p> <p>(6) 閉会挨拶</p>

## 議事概要

### 2 魅力豊かな高校づくりへの提言

#### 【提言 1】

- ・町主催の会議では、大人の中に混じっても堂々と意見を述べる揖斐高生に頼もしさを感じた。
- ・ラジオ体操にも参加していただき、リーダーシップを発揮してくれた。お礼を言いたい。

#### 【提言 2】

- ・学校視察の話を聴き、資金的に地元自治体の支援が重要であることがよく分かった。
- ・できることを確実に実践していただきたい。次の会議には「できたこと」を持ってくるつもりで臨んでほしい。

#### 【提言 3】

- ・授業がアナログ的。IT機器の活用があるとよい。
- ・揖斐高校を主体にした町づくりを推進したい。地元負担で海外に留学できる仕組みを高校生対象に企画し、グローバル社会に対応させたい。

#### 【提言 4】

- ・様々な町の行事に参加していただき大変ありがたい。

#### 【提言 5】

- ・中高の連携が地域連携に広がっている。中学生にはこれがどのような魅力になっているか、さらに情報発信していただけるとよい。

#### 【提言 6】

- ・デュアル実習は進路実現が得られる貴重なカリキュラムである。
- ・寮の件では、町の補助金で「在宅制度」の受入れ方法も考えられる。

#### 【提言 7】

- ・青少年町民育成大会ではお世話になる。発表している生徒を他の生徒にも見に来てほしい。座席は確保できる。

#### 【提言 8】

- ・自分の考えを伝えることは大事。発表する生徒だけではなく、一般の生徒にも聞いてほしい。

#### 【提言 9】

- ・日常指導していただいていると思うが、生徒の言葉遣いが気になる。

#### 【提言 10】

- ・島根県の横田高校の生徒が海外研修に参加している。揖斐川町でも米国セントジョージ市とのさらなる交流を期待したい。
- ・生徒には何事も目的意識を持たせることが大切である。
- ・学習成果発表会では生徒全員で創りあげてほしい。見ている側も拍手で参加し、思いを共有することを期待したい。後輩に憧れを抱かせることを実践してほしい。

#### 【提言 11】

- ・「いびがわマラソン」には、たくさんのボランティアが参加するが、全体に高齢化している。個人のボランティア精神を育てることを大切にしたい。
- ・海外と交流することも大事だが、揖斐高校と地元中学校の交流をもっと深めたい。

**【提言12】**

- ・県立高校100年の歴史。この歴史をどう考えるか。進学させて都会に行かせるのではなく、地元に残る生徒を育むことができるとよい。デュアル実習の6名は地元に残る。20人がデュアル実習をすれば、20人が地元に残る。寮を作って地元に残したい。こうした進路指導を考えてもらいたい。
- ・揖斐高校で国立大学進学は無理なのか。揖斐高校からも進学できることを打ち出すことも大切である。
- ・例えば、技能検定も公に見せる。高校生が身に付けた技能は「見える化」してほしい。出願者を増やす工夫になるはずである。

**【提言13】**

- ・生徒が将来的なビジョンを明確にもてるようにするため、デュアル実習をもっと広めるとよい。
- ・遠方からも通学できるような交通の手立てを期待したい。

3 まとめ

<県教育委員会より>

学校の小規模化がいけないのではなく、小規模でも単独校として活性化できる途を模索することが本事業の趣旨である。揖斐高校ではこのことが具現化されつつある。本日の会を踏まえて、実践を高めていきたい。

<校長より>

先進校の取組を視察したり、町からの支援を受けていることを踏まえて、来年度、可能なところから実践していきたい。